

全国高等専門学校体育大会剣道競技運営に関する申合せ事項

表記大会において、競技委員長は公正を旨とし、剣道競技専門部並びに地区専門部の協力を仰ぎ、錯誤のないように以下の事項に留意して、競技を主催・運営し、大会参加者も以下の申合せ事項を遵守する。

[大会・競技運営に関する事項]

- 1 大会運営役員及び大会参加登録者（選手、監督、コーチ、マネージャー）は、高等専門学校の大会として相応しい身嗜みに気を付けること。
なお、大会参加登録者の服装について、選手は、（公財）全日本剣道連盟試合規則に従い、剣道着、袴、剣道具の着装、点検等、安全面に十分留意する。監督、コーチの服装については、白シャツにズボン（黒、灰または紺系統色）とし、学生コーチ、マネージャーについては、チームのユニフォーム、制服等とする。
- 2 試合会場には、大会参加登録者のみが入場できる。また、個人の部においては、該当選手及び監督、コーチ（代理を含む）のみが試合会場に入場できる。応援者は指定の応援席でマナー良く応援することとする。試合会場では、大会要項、競技規則及び会場規則に従う。
- 3 開会式、閉会式（表彰式）の選手の参加は、剣道着、袴、胴、垂れを着装して参加する。
- 4 男子団体の部で5名に満たない場合の特例として、3名の場合、先鋒・中堅・大将に選手を置き、4名の場合、先鋒・中堅・副将・大将に選手を置く。また、女子団体の部で3名に満たない場合は、先鋒と大将に選手を置く。
- 5 竹刀については、安全に十分配慮し、（公財）全日本剣道連盟試合規則に準じ、教育的な配慮のもとで使用する。また、二刀を使う選手は、4年生以上の者に限ることとする。
- 6 団体の部のリーグの順位決定においては実施要項のとおりであるが、3校の順位が決定しない場合（三つ巴）のみ、選手の体調面を考慮して、試合毎に任意選出による代表戦とし、試合時間4分3本勝負（勝負が決まらない場合は引き分け）の勝ち点、取得本数制として順位を決定する。なお、2校に絞られた時点で、実施要項記載のとおりで決定する。
- 7 開会式、閉会式は、全ての参加選手が参加する。ただし、個人の部のみ出場の選手は、個人の部の表彰式に参加し、2日目の閉会（表彰）式の参加は任意とする。なお、学校、選手の都合により、表彰式、閉会式に参加できない場合は、地区専門委員を通じて、競技専門委員長に連絡して指示を仰ぐこととする。

[組み合わせに関する事項]

- 1 組み合わせ会議は、大会審判長・地区専門委員・地区専門部（剣道部顧問）委員の出席の上で開催する。組み合わせは、前年度の成績・地区予選の成績を考慮し抽選とする。また、組み合わせについては、公表する前に剣道競技専門委員長ならびに各地区専門委員に確認をとる。
- 2 団体の部の組み合わせについては、前年度入賞校をシードする。ただし、①9校による予選リーグ、②12校による予選リーグの場合と③16校によるトーナメントの場合で次のように組み合わせを決定する。
①9校による予選リーグ、決勝リーグを行う場合
シードについては、前年度優勝校を組み合わせ表の1番に、第2位校を7番に、第3位校2校の内、優勝校に敗れた第3位校を4番に、準優勝校に敗れた第3位校を6番にシードする。前年度入賞校が出場しない場合は順次繰り上げる。
②12校による予選リーグの場合
シードについては、前年度優勝校を組み合わせ表の1番に、第2位校を10番に、第3位校2校の内、優勝校に敗れた第3位校を7番に、準優勝校に敗れた第3位校を4番にシードする。前年度入賞校が出場しない場合は順次繰り上げる。また、各地区予選の第2位校、開催校枠のみで1つのブロックを作らないようにする。

③16校によるトーナメントの場合

シードについては、前年度優勝校を組み合わせ表の1番に、第2位校を16番に、第3位校2校の内、優勝校に敗れた第3位校を9番に、準優勝校に敗れた第3位校を8番にシードする。前年度入賞校が出場しない場合は順次繰り上げる。また、各地区予選の第1位校同士の試合がないようにする。

なお、上記②と③を決めるにあたり、同一地区内のチームは、左右のブロックに振り分け、決勝までは試合がないことを先に考慮する。また、開催校を含め、同一地区より3校が出場となる場合は、同一地区出場校が予選リーグまたは、準決勝まで試合がないようにする。

3 個人の部の組み合わせについては、次のとおりとする。

(男子個人の部) 別に定めたトーナメント表のA～Hまでの枠を各地区で抽選し、各地区大会の順位の枠で組み合わせを決定する。ただし、開催校枠は北海道地区3位枠とし、4位枠はトーナメントを無くすこととする。

(女子個人の部) 別に定めたトーナメント表のA～Hまでの枠を各地区で抽選し、各地区大会の順位の枠で組み合わせを決定する。ただし、開催校枠は北海道地区3位枠とする。

4 団体の部リーグ（9校の場合）の試合順序については、A（1～3）、B（4～6）、C（7～9）の各ブロックで、試合順序を次のように組む。第一試合場の順序は第1試合目に番号2－3、第2試合目に1－3、7－9、1－2、7－8の順に、第二試合場の順序は、第1試合目に番号8－9、5－6、4－6、4－5の順に行う。決勝リーグの試合順序は、各リーグ1位（A、B、C）を、A－B、C－B、C－Aの順で行う。

団体の部リーグ（12校の場合）の試合順序については、AからDまでの各ブロックで、試合順序を次のように組む。Aブロックでの試合順序は番号2－3の試合を第1試合目に、1－3を第2試合目に、1－2を第3試合目とする。以下、B・C・DブロックについてもAブロックと同様に組むものとする。なお、第二試合場C・Dブロックについては外側のDブロックから試合を始めるものとする。

[優秀選手賞]

団体の部出場選手の中から心技体に優れた選手を剣道競技専門部において選考し、「優秀選手」として表彰することができる。

以上